

# せいしょ ぼうけん ものがたり 聖書の冒険物語

だいごう  
第19号  
ねんがつにち  
2022年7月22日

## へんぼう ペテロの変貌

こども ふういんしょ だい しょう し とぎょうでん  
子供のための、マタイによる福音書 第26章とルカによる福音書 第22章と使徒行伝 第2章

せいしょ なか もっと けっしゅつ じんぶつ  
聖書の中で最も傑出した人物の  
ひとり こんにちし と し  
一人に、今日使徒ペテロとして知ら  
れている、バルヨナ・シモンがいる。  
かれ ぶ こつ りょうし  
彼は無骨な漁師で、いつもエネ  
ギーにあふれた行動派だった。

こじんてき しどう おし  
キリストの個人的な指導と教えの  
もとにいた ずねんかん ペテロは、自分  
のやり方を強引に押し進めることが  
たびたびあった。ペテロは、12使  
徒のなか とぬ そっちよく  
徒の中でも飛び抜けて率直にものを  
い おも なん くち  
言い、思ったことは何でも口にする  
ひと じしん かわ さまた  
人だったが、自信はしばしば彼の妨  
げとなり、失敗や間違いの原因に  
なった。

けれども、ペテロは丸3年間イエ  
スに従った後に、劇的な変貌を遂げ

た。これから話すのは、彼の遂げた  
その変貌についての物語だ。イエス  
ちじょう しめい お ちか  
の地上での使命が終わりに近づいた  
とき はなし はじ  
時のことから話を始めよう。イエス  
は、弟子達といっしょに最後の晩餐  
をしていた。イエスが逮捕されて十  
字架刑に至る、わずか数時間前のこ  
とだ。

イエスは、まもなく御自分がこの  
よ ひとびと つみ しゅうじ か  
世の人々の罪のために十字架にかけ  
られて死ぬことを知っておられたの  
で、弟子達を見回して、こう言われ  
た。「今夜、あなたがたは皆、わた  
しにつまずき、わたしを残して去る  
であろう。『わたしは羊飼いを打つ。  
そして羊の群れは散らされるであ  
らう。』と書いてあるからである。」<sup>1</sup>

これを聞いたペテロは、自分の信  
仰と力を買いかぶり、大胆にも、こ  
う断言した。「たとえみんながあな  
たを見捨てても、私は決してあなた  
を見捨てません！」

するとイエスは、穏やかに、こう  
答えられた。「よくあなたに言うて  
おく。今夜、鶏が鳴く前に、あなたは  
3度、わたしを知らないと言うだろ  
う。」<sup>2</sup>

ペテロは言い張った。「主よ、わ  
たしは獄にでも、また死に至るまで  
も、あなたといっしょに行く覚悟で  
す！」<sup>3</sup>

それにもかかわらず、まさにその

夜、イエスが弟子達といっしょに  
ゲッセマネの園にいた時、祭司長や  
長老達がつかわした兵士の一団が  
剣やこん棒やたいまつを手をや  
つて来てイエスを捕まえると、弟子達  
はおびえるばかりで、一人残らず逃げ  
去ってしまった。

イエスが大祭司の屋敷に連れて  
いかれると、ペテロは勇気を振り  
絞って、遠くからイエスについて行  
き、屋敷に着くと、離れた所から裁  
判の成り行きを見ようと、扉のそば  
に立っていた。すると屋敷の女中が、  
そわそわして落ち着きのない様子の  
ひと ぎつ うたが ぶか ようす  
人がいるのに気づき、疑い深い様子  
で、「あなたも、あの仲間の一人じゃ  
ないの？」と言った。



おどろ 驚いたペテロは「いや、違う！」  
と、夜警達が火を焚いて暖  
まっている所に移動した。

すると他の女性が、そばに立っ  
ている人達に、「この人もナザレのイ  
エスといっしょだったわ。あの人達  
の仲間よ。」と言った。

けれどもペテロは、彼らの前  
で「私はその人を知らない！」と怒  
鳴った。

突然、イエスが捕らえられた時に  
そこにいた男がペテロを指さし、大  
声で「ゲッセマネの園でイエスと  
いっしょにいたんじゃないか？」と  
問いただすと、群衆の中に立ってい  
た他の人達も、「確かにあなたは彼  
らの仲間だ！ そのなまりで、ガリ  
ラヤ人だとわかる！」などと言ひ始  
めた。ペテロは、「何のことを言っ  
ているのか分からない。あなたの話  
しているその人のことは何も知らな  
い。」と言ひ張り、口汚くののしり  
始めた。4

すると、ペテロがまだ言い終わら  
ないうちに、鶏が鳴いた。イエスは、  
御自分を捕らえた者によって屋敷の  
中の他の場所に連れて行かれるとこ  
ろだったが、振り返って、まっすぐ  
ペテロを見つめた。するとペテロは  
すぐに、「鶏が鳴く前に、3度わたし  
を知らない、と言うであろう。」と  
言ったイエスの言葉を思い出した。

自分のしたことに気づいたペテロ  
は、よろめきながら戸口に向かうと、  
その後夜の暗闇の中へまっしぐらに  
駆けて行った。人気のないエルサレ  
ムの壁の下まで来ると、ペテロは地  
面に伏して、激しく泣いた。5

けれども、この話は敗北で終わっ  
てはいない。イエスは裁判にかけら  
れ、十字架刑にされたが、わずか  
3日後に、奇跡的に死からよみが  
えったのだ！ その間、弟子達は小  
さな部屋に集まって隠れていたが、  
弟子達の隠れ場所を知っておられた  
イエスは、彼らの前に姿を現した。  
それから40日間に渡って、イエス

はたびたび弟子達の間姿を現し、  
いっしょに歩き回ったり、彼らを励  
ましたりされた。また、御自分が  
去った後の弟子達の使命についても  
説明された。40日たって昇天する  
直前に、イエスは弟子達にエルサレ  
ムに戻るようにと命じられ、「上か  
ら力を授けられるまでは、わたしの  
父の約束を待っているがよい。聖霊  
があなたがたに下る時、あなたがた  
は力を受けて、わたしの証人となる  
であろう。」と言われた。6

使徒達はエルサレムに戻り、他の  
120人以上の弟子達、さらに彼らの  
妻や子供達といっしょに、屋上の間  
に集まった。そして、イエスの昇天  
前の最後の命令に従って、祈りなが  
ら待っていた。

10日後に、激しい風が吹くよう  
な音がして、一同が座っていた家い  
っぱいに響き渡った。また舌のよう  
なものが炎のように分かれて現れ、  
一人一人の頭の上にとどまった。す  
ると一同は聖霊に満たされ、聖霊が

語らせるままに、いろいろの他国の  
言葉で語り出したのだ。7

これこそ、弟子達が待っていたも  
のだった。主イエスが去られた後も  
主の仕事を続けていくのを可能にす  
るための、主からの超自然的な力だ。  
神の聖霊の力によって、心も人生も  
すっかり変わったペテロは、新約聖  
書に記されている驚異的な証しの冒  
険へと、弟子達を導くことになっ  
たのだ。

当時、エルサレムには、ユダヤ人  
恒例の収穫祭を祝うために、国外か  
ら大勢の人々が来ていた。ペテロが、  
今やあふれるまでに聖霊に満たされ  
た120人の弟子達と共に路上に出る  
と、彼らは全員、その日エルサレムを  
訪問していた各国の人々の国の言語  
で超自然的に語り始めた。弟子達の  
誰も、それらの言語を前から知って  
いたわけではなかったのだ。弟子  
達は群衆に、イエスの内にある神の  
愛の素晴らしい知らせと救いのメッ  
セージについて、証ししたのだ。



それから、ペテロはそばにある建物の階段に上がって手を挙げ、群衆に向かって大声で呼びかけて静ませた。彼が並々ならぬ権威をもって話したので、その結果、3千人という驚くほど大勢の人々が救われたばかりか、その日に弟子として全時間主に仕える決心をしたのだ。

ペテロは変わった。イエスが逮捕された後、とても臆病になって、3度もイエスを知らないと言否定するほどだったそのペテロが、今やイエスが十字架にかけられたまさにその同じ町で、何千人もの人々の前に立って、大胆に、神のメッセージを宣言した。何がこの変貌をもたらしたのか？ それは、聖霊の力だった。主が約束されたように、聖霊が下った時、弟子達は力を受けたのだ。

ペテロは、イエスを拒んだ時に厳しい試練を経験したが、もはやそんなことを悔やんでいる暇はない。証しをして人々を神の王国に勝ち取るという仕事が爆発的に進行してお

り、主は、ペテロが夢にも思わなかったような方法で彼を使っておられた。以前 彼はとても衝動的で、いつも場違いなことを言っているようだったが、今は、主が祈られたように、兄弟を力づけていたのだから。7

主がとても多くの奇跡を行ってお

られるのを目の当たりにして、弟子達はみんな、大喜びだった。主が最も絶望的な状況にあった時に、彼らは皆主を見捨ててしまったものの、イエスがなお自分達を愛して下さっていることを知って、今では、イエスが彼らと共に歩まれた時以上に強い信仰を持つようになった。

イエスが去ってしまわれたという感覚はもはやないだけでなく、かつて以上にイエスと近くなったようにさえ思われた。彼らは、主が以前自分達に語られた言葉を思い出した。「わたしが去って行くことは、あなたがたの益になるのだ。わたしが去って行かなければ、あなたがたの





ところに助け主は来ないであろう。それは、聖霊である。今聖霊はあなたがたと共にいるが、その時になれば、あなたがたの内うちにいるであろう。わたしを信じる者はまた、わたしのしているわざをするであろう。そればかりか、もっと大きいわざをするであろう。わたしが父のみもとに行くからである！」<sup>9</sup>

3千人以上の新しい人達が救われてから間もないある日のこと、ペテロとヨハネは、生まれつき足が不自由だった人を群衆の目の前で即座にいやし、見ていた人達をびっくり仰天させた。そこでペテロが、奇跡を見に来た教え切れないほどの人々に

向かって語ると、更に5千人が弟子として加わった。それで弟子の数は8千人にまで増えたが、それには女性と子供の数は含まれていない。これこそが、イエスが語っておられた、「もっと大きなわざ」だった。どうしてそんなことができたのだろうか？ それは、イエスが共におられただけではなく、聖霊を通して、彼らに力と教えと知恵を授けておられたからだ。

その後、ペテロとヨハネは、救い主を十字架にかけた邪悪な宗教指導者達によって起こされた迫害に直面した。けれどもこの時は、恐れたり怖気づいたりすることもなく、主を

否定することもなかった。ペテロは議会の前に立ち、勇気と御霊の権威にあふれた証しをした。聖書にはこう記されている。「人々は、ペテロとヨハネとの大胆な話しぶりを見、また同時に二人が無学な、ただの人達であることを知って驚嘆した。そして彼らがイエスと共にいた者であることを認めた。」<sup>10</sup>

どうして人々は驚嘆したのだろうか？ それは、イエスが地上で持つておられたのと同じ力を弟子達が持っているのを、目の当たりにしたからだった。

まやくちゆう  
脚注：

- 1 マタイによる福音書 26:31 とゼカリヤ書 13:7
- 2 マタイによる福音書 26:31-35
- 3 ルカによる福音書 22:33
- 4 マルコによる福音書 14:70,71
- 5 ルカによる福音書 22:59-62
- 6 ルカによる福音書 24:49 と使徒行伝 1:8
- 7 使徒行伝 2:2-4
- 8 ルカによる福音書 22:32
- 9 ヨハネによる福音書 14:12, 16, 17; 16:7
- 10 使徒行伝 4:13